

## 地方と都市の継続的な交流促進を

副代表幹事  
震災復興委員会 委員長

**木村 恵司**

三菱地所  
取締役会長



昨年12月に『まち・ひと・しごと創生長期ビジョン』と『まち・ひと・しごと創生総合戦略』が閣議決定されるなど、政府において、人口減少の克服や地方創生に対し、積極的な取り組みがなされている点を高く評価したい。人口減少および少子・高齢化は、都市と地方の共通課題である。民間の活力を活かしつつ、都市も地方もそれぞれの特性を發揮しながら、車の両輪となって課題を克服するという観点が必要であろう。

東京をはじめとする大都市は、わが国の経済のエンジンであり、国際的な競争力を高め、国全体の経済をけん引していくことが、当面の経済成長のためには有効である。

一方、地方においては、コンパクトシティ化の推進とともに、観光等の地域資源や地方大学の活用などにより、その地方を支える産業を活性化し、雇用を創出して、若者が住みたいと感じることができるようまちづくりに取り組むことが必要だ。そのためには中心となる“人”をどう育てていくかが重要なポイントであり、地方と都市との交流を図っていくことが一つの方法ではないか。

経済同友会では、一昨年から宮城県女川町の役場・民間企業の中堅若手の方々に、会員の所属企業で、一週間ほどの研修を受けてもらう取り組みを行っている。女川では、「わかもの」「よそももの」にまちづくりを任せるということで、若い地元の人(わかもの)や地域外出身の若い人(よそも

の)が中心となって取り組んでいる。60代以上は口を出さずに見守っていることもあり、地元女川町に戻った参加者は、自分たちが地域を担っていかなければならないというマインドを持って日々地元で頑張っていると聞く。一週間の研修で身に付けられるスキルには限りがあるかもしれないが、マインドの部分で触発された何かを持ち帰っているのだろう。

一方、三菱地所グループではCSR活動として、山梨県北杜市増富地域においてNPO法人と連携し、体験ツアーを通じた耕作放棄地・荒廃森林の再生の取り組みを行っている。また、再生した棚田では酒米を育て、地元の酒蔵に協力してもらい、純米酒「丸の内」を製造している。体験ツアーでは、グループの社員だけでなく丸の内エリアの就業者、住宅事業のお客さまなども参加し、「都市と農山村が、お互い元気になる社会」を目指して活動を続けている。

地方、都市はそれぞれさまざまな課題を抱えている。政府も地方創生において、従来の一律支援の方向性を転換し、頑張っている地方を応援するという方向性を打ち出している。いくつかの成功事例を早く生み出し、それがモデルケースとなって広く波及していくことを期待したい。

それには一時の大規模な取り組みも重要であるが、息の長い取り組みとして、無理のない継続的な交流活動を通じて相互理解・相互協力を図っていくことも大切である。

## No.779 June 2015 経済同友会 6

C O N T E N T S

### 特集1

国連防災世界会議 パブリック・フォーラム  
防災シンポジウム  
東日本大震災の経験・教訓を踏まえた  
防災への取り組み 02

### 特集2

第5回「One Company, One Athlete」  
トップ・アスリートのための  
支援・雇用に向けた企業説明会 07

### Close-up提言

環境・エネルギー委員会【提言】 11  
朝田 照男 委員長  
豊かな国民生活のために原発の活用を  
改革推進プラットフォーム 産業構造改革PT【提言】 13  
富山 和彦 委員長  
労働力不足の今こそ企業の新陳代謝の促進を  
教育改革委員会【提言】 15  
天羽 稔 委員長  
産業構造の変化に合わせ、企業も大学も大胆な変革を

### Doyukai Report

被災地出張授業 17  
高校生に期待するー自己改革を図るー  
浦野 光人 幹事(ニチレイ 相談役)  
東北未来創造パートナーシップ・フォーラム 19  
福島大学つくしまふくしま未来支援センター  
京都シンポジウム  
ほんとの空が戻る日まで  
ー東日本大震災および原発事故からの福島闘いの

### Column

巻頭言 木村 恵司 01  
「地方と都市の継続的な交流促進を」  
リレートーク 津坂 純 22  
「小椋佳先生と謳う青春」  
コペンハーゲン通信 23  
「デンマークのハロウィーン?! ファステラウンを紹介します」  
福島に「ほんとの空」が戻る日まで 24  
～福島大学FUREの挑戦～ 大平 佳男 氏  
「再生可能エネルギー先駆けの地を目指して  
ー地域産業と連携した地域活性化」  
私の思い出写真館 河合 輝欣 26  
「海外のICTインフラシステムの超短期での受注、開発の思い出」  
新入会員紹介 25

今月の表紙: シリーズ国花  
【睡蓮/エジプト、バングラデシュ】  
エジプトでは「太陽の花」と呼ばれ、古代遺跡にはツタンカーメンに睡蓮が贈られた場面が描かれ、クレオパトラは睡蓮の香水を愛好していたと言われています。